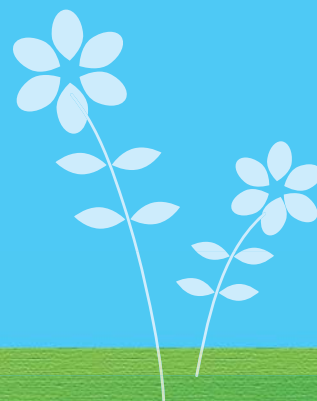


あ し た  
未来を  
みつめて。

クリーンバンクしがぎんは、  
持続可能な社会の実現に向けて  
歩みを進めています。



「東日本大震災」や「台風12号」等により被災された皆さまに、謹んでお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。

株式会社 滋賀銀行



トップメッセージ

## 「環境経営」

滋賀銀行は、地球環境保全のシンボル・琵琶湖の畔に本拠を置く企業の社会的使命として、環境を主軸に福祉・文化など広範な分野で「CSR（企業の社会的責任）」の追求に全行あげて取り組んでおります。

琵琶湖は、私たちの生活や事業活動を敏感に反映するとともに、その生態系は人と“いきもの”の微妙なバランスのうえに成り立っています。まさに私たち人間の諸活動を映す“鏡”です。

当行は、この“母なる湖”を、そして地球環境を保全し、「持続可能な社会」の実現をめざしてさまざまな活動を行っています。その大きな柱が、経営に環境を取り込んだ「環境経営」と、金融に環境を組み込んだ「環境金融」の実践です。「お金の流れで地球環境を守る」との切なる願いを込めた、金融機関ならではの取り組みと位置づけています。

具体的には、お取引先の地球温暖化防止活動を金融面で支援する「琵琶湖原則支援資金（PLB資金）」など、環境保全に関する業界トップランナーである「エコ・ファースト企業」として、お客さまと手を携えて環境保全をめざす、さまざまな環境対応型金融商品・サービスの開発、提供に努めております。

一方、役職員が冬の琵琶湖畔に出た「ヨシ刈り」（下段写真）や、子どもたちに環境の学習と実践の場を提供する「学校ビオトープ（生物生息空間）」づくりへの助成、琵琶湖の固有種で絶滅危惧種のニゴロブナとワタカの「稚魚放流」など、環境保全活動にも取り組んでおります。

私たちは今後とも“環境・福祉・文化”を3本柱にCSR活動を展開し、地域社会との一層の「共存共栄」、琵琶湖をはじめとする地球環境の保全を図るとともに、「持続可能な社会」の実現をめざしてまいります。

当冊子「CSRレポート2011 未来をみつめて」は、それらの諸活動をまとめたものです。何とぞご高覧賜りますようお願い申し上げますとともに、当行「CSR活動」へのご支援をお願いいたします。

2011年10月

取締役頭取 **大道良夫**

### しがぎんのデータ (2011年3月31日現在)

名称	株式会社 滋賀銀行 THE SHIGA BANK, LTD.
本店所在地	滋賀県大津市浜町1番38号
設立	1933年10月1日
総資産	4兆4,017億円
預金残高	4兆88億円（譲渡性預金含む）
貸出金残高	2兆7,748億円
資本金	330億円
従業員	2,365人
店舗数	138カ店（うち代理店10カ店）

### 編集方針

滋賀銀行は、2001年から「環境レポート」を毎年発行し、2004年に「CSRレポート」に改称、今回が11冊目となります。

本レポートは、当行が「グリーンバンクしがぎん」として果たすべきCSRに関する方針や活動を報告するものです。

「CSR憲章（経営理念）」の3つの約束、①地域社会との共存共栄、②役職員との共存共栄、③地球環境との共存共栄の各テーマを軸に、わかりやすい言葉と写真の多用により、活動内容をご理解いただけるよう心がけました。一人でも多くの方にお読みいただくと幸いです。

※財務面および、その他詳細な情報については、「ディスクロージャー誌2011」または「ホームページ」をご覧ください。

※「エコ・ファーストの約束」の取り組み項目には マークを、生物多様性保全の取り組み項目には マークを表示しています。

### 報告対象組織

滋賀銀行の活動を対象としていますが、一部関連会社の活動も掲載しています。

### 対象期間

2010年度（2010年4月1日から2011年3月31日）を主な報告対象とし、一部には、2010年度以前の活動や2011年8月までの最新情報を含んでいます。

次回の報告書発行予定：2012年9月

## CONTENTS

トップメッセージ

### 「CSRのしがぎん」をめざして

しがぎんのCSR	2
エコ・ファースト企業	3

### 地球環境との共存共栄

「グリーンバンクしがぎん」をめざして	4
地球温暖化防止活動	5
エコオフィスづくり	6
お金の流れで地球環境を守る	8
環境コミュニケーション	16
広がる環境ボランティアの「環」	18
環境会計	19
生物多様性保全に向けた取り組み	20

### 地域社会との共存共栄

社会貢献活動の取り組み	22
文化の取り組み	23
お客さま満足度の向上をめざして	24

### 役職員との共存共栄

一人ひとりが力を発揮できる職場づくり	26
--------------------	----

コンプライアンスの取り組み	30
東日本大震災への対応	31
事業継続に向けた取り組み	31
しがぎんCSR HISTORY	32
第三者意見	33

マークの内容はWebサイトに詳細を掲載しています。  
<http://www.shigagin.com>

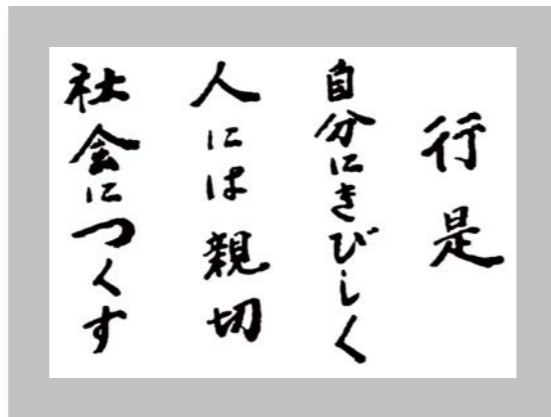


# しがぎんのCSR

当行は、CSR(企業の社会的責任)を「社会の持続可能な発展のために、社会の一員である当行が果たすべき責任」として位置づけております。

行是「自分にきびしく 人には親切 社会につくす」(1966年制定)の精神を原点とし、「地域社会・役職員・地球環境」との「共存共栄」を追求する「CSR憲章」を、2007年に地方銀行で初めて制定。「環境」「福祉」「文化」を3本柱に、多面的な活動を展開しています。

とりわけ、環境を主軸とするCSRの追求を「銀行経営の要諦」と位置づけ、銀行経営に環境を取り込む「環境経営」と、金融に環境を組み込む「環境金融」を実践しています。



CSR=Corporate Social Responsibility (企業の社会的責任) 企業活動の社会的、経済的、環境的側面においてバランスのとれた責任を果たすべき、とする経営の理念。

## CSR憲章(経営理念)

私たちは、伝統ある近江商人の「三方よし(売り手よし、買い手よし、世間よし)」の精神を継承した行是「自分にきびしく 人には親切 社会につくす」をCSR(企業の社会的責任)の原点とし、社会の一員として「共存共栄」を実現してまいります。

### 地域社会との共存共栄

地域とともに歩む銀行として、お客さまの信頼と期待にお応えするため、「健全」と「進取」の精神を貫き、地域社会の発展に努めます。

### 地球環境との共存共栄

琵琶湖畔に本拠を置く企業の社会的使命として「環境経営」を実践し、地球環境を守り、持続可能な社会づくりに努めます。

### 役職員との共存共栄

役職員一人ひとりの人権や個性を尊重し、働きがいのある職場づくりに努め、心身ともに「クリーンバンクしがぎん」の実現に努めます。



CSR憲章

## CSRの実践に向けて 滋賀銀行の行動規範

「CSR憲章」に込めた「共存共栄」の実現に向け、具体的指針「滋賀銀行の行動規範」を策定しています。全役職員が一丸となって「CSRのしがぎん」の確立に努めています。

## CSRの推進態勢 CSR委員会の開催

CSRに関する中長期計画および各施策を、組織横断的に協議することを目的に、頭取を委員長とする「CSR委員会」を年3回開催。CSR活動の一層の充実・強化に向け、積極的な討議を行っています。



地球環境との共存共栄

## エコ・ファースト企業

「エコ・ファーストの約束」進捗状況



当行は、2008年7月に環境省より「エコ・ファースト企業」として認定を受け、地球温暖化防止に向けた取り組みや、金融機関ならではの環境対応型金融商品・サービスを積極的に推進してまいりました。

「エコ・ファーストの約束」16項目は順調に推移しています。

「エコ・ファースト・フォローアップ式」2010年2月  
小沢環境大臣と大道頭取(右)



### しがぎんの「エコ・ファーストの約束」

株式会社滋賀銀行は、「環境金融」が地球温暖化防止や生物多様性の保全をはじめとする、持続可能な社会づくりに貢献できるとの使命を認識し、金融機関ならではのCSR活動を展開しております。環境等に配慮した「お金」の流れの拡大に向けて、地域の皆さまと手を携えて環境保全に努めることを目的に、以下の取組をより一層促進してまいります。

#### 約束1 “お金の流れで地球環境を守る”との気概で、環境対応型金融商品・サービスを積極的に推進します。

取り組み項目	進捗状況	関連ページ
「カーボンオフセット定期預金 未来の種」により、定期預金額の0.1%の排出権を購入し、国へ無償譲渡します。	9,329tを無償譲渡	10
申込用紙を不要とする「エコプラス定期」を650,000件推進し、お客さまとともに省資源に努めます。	193,187件	9
①「エコ&耐震住宅ローン」、②「エコ・グリーン資金」、③「琵琶湖原則支援資金」、④「カーボンニュートラルローン 未来よし」を積極的に推進。	①675件 ②21件 ③149件 ④190件	11・12・14
琵琶湖をはじめとする地球環境保全への願いを込めた、「しがぎん琵琶湖原則」への賛同を広く呼びかけてまいります。	賛同7,741先	12
①「エコビジネスフォーラム」、②「エコビジネスマッチングフェア」を開催し、お客さまの環境ビジネスを積極的にサポートします。	①年5回開催 ②来場者2,170名 商談件数612件	16・17

#### 約束2 「グリーンバンクしがぎん」を合言葉に、省資源・省エネルギーの「エコオフィスづくり」を推進します。

取り組み項目	進捗状況	関連ページ
温室効果ガス排出量を、当行全体の総量で2010年度から2012年度までに2006年度比25%削減します。	55.25%	5
空調機、照明設備、受電設備を随時更新し、オフィスの省エネルギー化を進めます。		6・7
イントラネットパソコンのシステム更改を2013年度までに実施し、パソコンにかかる消費電力量を20%削減します。		
店舗の新築・改築の際には3R品や、省エネルギー機器、太陽光発電設備の導入など環境に配慮した仕様とします。		
行内の「リサイクルシステム」を活用し、紙・ゴミを年間500tリサイクルいたします。	リサイクル474t	
「エコメール」を推進し、紙資源・ビニール袋等の廃棄物削減に努めます。	紙資源等の削減1,074kg	

#### 約束3 生物多様性の保全を実現する社会づくりを推進します。

取り組み項目	進捗状況	関連ページ
琵琶湖をはじめとする自然がもたらす豊かな恵みに感謝し、生物多様性保全に向けた取り組みを拡大・強化いたします。		20・21
当行独自の評価指標「生物多様性格付」を活用し、お客さまの「生物多様性の保全活動」の普及・啓発に努めます。	格付1,760先	13
「カーボンニュートラルローン 未来よし」の拠出金により、琵琶湖の固有種で絶滅危惧種の「ニゴロブナ」と「ワタカ」を放流。		14
「エコプラス定期」の拠出金により、子どもたちの「環境学習の実践の場」である「学校ビオトープ」づくりをサポートします。	20校	9
森づくりサポート、ヨシ刈り、外来魚駆除等の役職員ボランティアを通じて、生態系の保全に努めます。		18・19

## エコの環をさらに拡げるため、「エコ・ファースト推進協議会」を設立

当行をはじめ、エコ・ファーストの認定を受けている36社は、各企業の「エコ・ファーストの約束」の確実な実践と環境保全活動の一層の充実を掲げ、2009年12月に「エコ・ファースト推進協議会」を設立。今後もエコ・ファースト企業間の連携を図り、地球環境保全に向けてさらなる前進をめざします。



# 「グリーンバンクしがぎん」をめざして

- ・ 当行は、「グリーンバンクしがぎん」を合言葉に、省資源・省エネルギーの「エコオフィスづくり」と、本業を通じた「環境対応型金融商品・サービスの開発、提供」を2本柱として、
- ・ 「ISO14001」の取り組み内容を充実・進化させてまいりました。



# 地球温暖化防止活動



- ・ 当行では、「3つのブランド戦略～知恵と親切の提供～」を掲げ、「高い付加価値を提供できる金融サービス業」の実現に向けて、全力で取り組んでいます。
- ・ 第4次長期経営計画では、「温室効果ガス(CO2)排出量25%削減」にチャレンジしています。

## グリーンバンクしがぎん

「しがぎんの合言葉」

「グリーン」に込めた4つの思い (1999年に宣言)

- ①省資源・省エネルギーの「エコオフィスづくり」
- ②「環境対応型金融商品・サービスの開発、提供」による地域への環境保全活動への働きかけ
- ③倫理観の強い行員づくり
- ④透明度の高い情報開示

## 滋賀銀行 環境方針

2010年4月、「環境マネジメントシステム」のスパイラルアップを図るため、より現在の活動に即した内容に「環境方針」を改定しました。

環境方針 (2010年4月改定)

当行は、「未来からの預かりもの」である琵琶湖を擁する滋賀県の地元銀行として、「環境金融」の更なる充実により、持続可能な社会づくりに貢献するとの使命を再認識し、「お金の流れで地球環境を守る」との気概で、「地球温暖化防止」ならびに「生物多様性保全」に向けた取り組みの実現に努めてまいります。

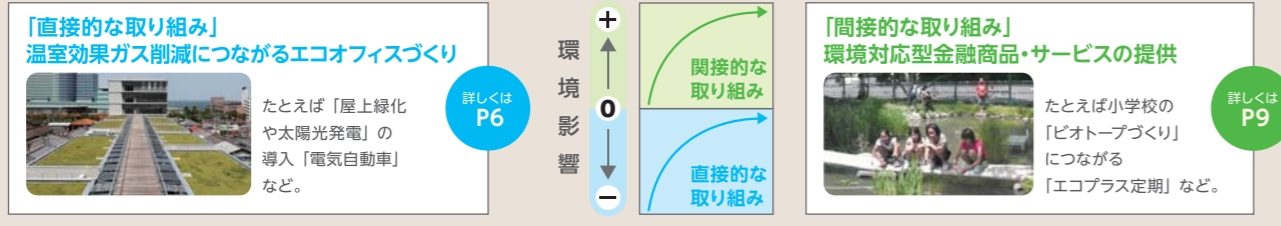
- 1 省資源・省エネルギー活動
- 2 金融サービスを通じた環境保全
- 3 環境関連法規等の順守
- 4 全員参加と啓発
- 5 環境方針の公開

## ISO14001の取り組み

ISO14001の認証取得より12年目を迎えた、滋賀銀行の環境マネジメントシステム。「エコオフィスづくり」と「環境対応型金融商品・サービスの開発、提供」を2本柱に、「環境経営」、「環境金融」の実践に努めています。

2010年度においても、環境に関する法令違反、事故はございませんでした。

環境負荷の軽減を推進する しがぎんの2つの発想



## ISO実施責任者の声



株式会社 しがぎん経済文化センター 森下 剛志

当社は「紙、ゴミ、電気」の削減だけでなく、主催するコンサートの使用電力量に相当するグリーン電力証書を購入し相殺(オフセット)することや、調査レポート、情報誌に環境関連の情報を意識的に取り上げる活動などを行っています。

また、この取り組みを毎月の会議で報告することにより、社員の意識を高め、環境保全がごく自然に意識できる企業をめざしています。

## Topics 環境目的・目標に「ROC」を設定

2010年度より、環境マネジメントシステムに、「ROC (Return on Carbon=炭素利益率)」を組み入れました。

「ROC」とは、「どれだけ少ないCO2排出量で、効率的に多くの利益を得るか」を数値化したものです。

2010年度実績 ROC=3,327 (CO21tの排出で3,327千円の業務純益を計上)



関連項目はWebをcheck

- 2010年度 環境活動の目標と実績

## 温室効果ガス排出量25%削減にチャレンジ!!

56.38%削減

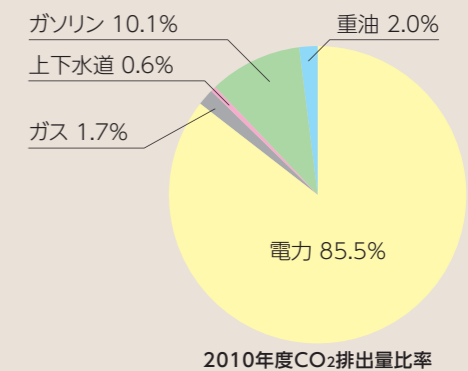
2010年度実績では、温室効果ガス排出量を56.38%削減することができました。

	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度
挑戦指標	第3次長期経営計画			第4次長期経営計画		
	挑戦指標 2007年度～2009年度 3年平均で6%削減			挑戦指標 2010年度～2012年度 3年平均で25%削減		
実績	CO2排出量削減		33.04%	56.38%	2006年度比較で 4,857t削減	
	真水による削減		5.50%	23.80%	CO2排出量 2,092t削減	
	排出権の購入		24.89%	31.45%	排出権 2,765tを購入し無償譲渡	
	本業の金融商品を通じた削減		2.65%	1.13%	環境対応型金融商品、植樹等	
(基準年:2006年度)						

地球温暖化防止に向けた、具体的な取組内容

- 役職員自らが省資源・省エネルギー活動に努める
- 環境効率の高い省エネルギー機器への更新
- グリーンITの導入
- 環境ボランティアによる植樹活動
- 公用車の環境対応車への切り替え
- 本業を通じたCO2の削減

- ① 環境対応車購入資金の実行
- ② 太陽光発電システム導入資金の実行
- ③ 「カーボンオフセット定期預金『未来の種』」による排出権の購入



## Topics 「グリーンウェイブ 2011」に参加



2011年4月、関連会社の株式会社しがぎんジェーシービーが、創立20周年を記念して、「びわこ地球市民の森」里の森ゾーンで記念植樹を行いました。当日は、小雨の降るあいにくのお天気でしたが、ヤブツバキ・イロハモミジ・コナラの3種類100本の苗木を植樹。植樹後は、周辺の清掃活動も実施し、苗木の生長を願うとともに、地域社会への感謝と地球環境保全への思いを新たにしました。

木を植えることをきっかけとして、生物多様性について考えるための、地球規模のキャンペーン「グリーンウェイブ 2011」にも参加しました。





# エコオフィスづくり

- 「滋賀銀行 環境方針」のもと、営業活動に伴う電力や紙の使用量を削減する、
- 省資源・省エネルギー活動に努め、
- 「エコオフィスづくり」を積極的に進めています。

## エコメールで地球環境に配慮



当行の広報冊子は、簡易包装「エコメール」で発送。2010年度は69,352通をエコメールで発送し、不要となる封筒やビニール袋などの廃棄物を1,074kg削減しました。



開封テープと宛名ラベルのみで発送。簡単にはがすことができます。

## しがぎんエコスタイル

当行では、服装だけでなく「ワークスタイルもエコに」との思いを込め、「しがぎんエコスタイル」キャンペーンを全店で展開しています。

今夏は5月9日～10月31日までの期間、室内温度を28℃に設定し、電力使用量削減に努めました。



夏期28℃

冬期20℃

## 環境配慮型店舗でエコ促進



店舗や施設の新設、移転にあたっては、「太陽光発電パネル」や「ソーラー街路灯」、LED照明、「雨水利用」、「屋上緑化」など、設備の環境対応を積極的に進めています。



高月支店



山東支店

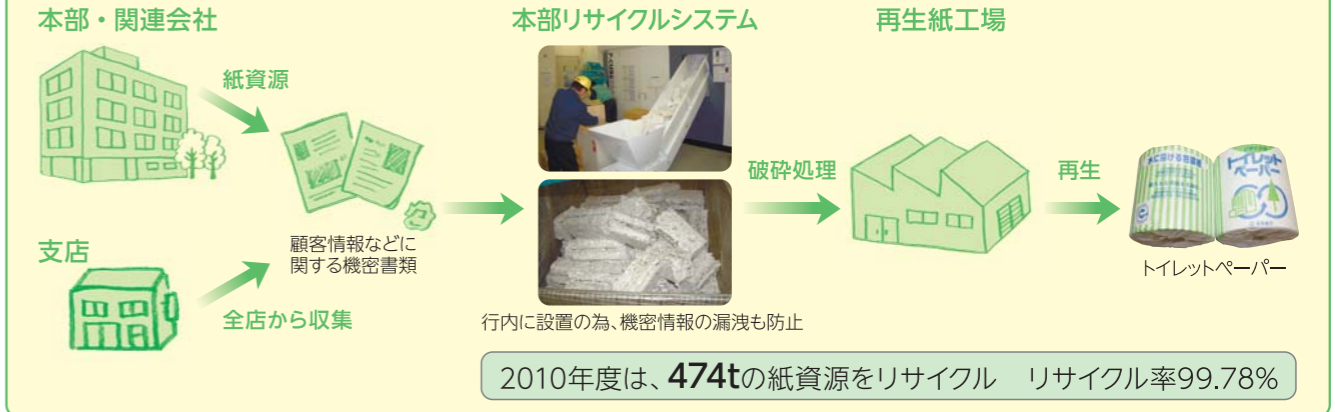
## 通勤も環境にやさしく



2011年4月、「エコ通勤に関する意識が高く、エコ通勤に関する取り組みを自主的、積極的に推進している事業所」として、しがぎんグループを代表して「滋賀銀行本部」で「エコ通勤優良事業所」の認証を取得。一人ひとりが「エコ通勤」に努めています。



## 行内リサイクルシステムで紙資源を再生



## 電気自動車でCO<sub>2</sub>排出量ゼロ

2010年7月、当行で初めて電気自動車を導入。あわせて自社車輛を順次、ハイブリッドなどの環境対応車に切り替えしています。



電気自動車

(環境対応車導入率89.3% 2010年度)

## ノベルティグッズもグリーン購入

当行の定める「グリーン購入基本方針」のもと、「グリーン購入」に取り組んでいます。お客さまにも「グリーンコンシューマー」となっていたり、ノベルティグッズも「グリーン購入商品」を提供しています。

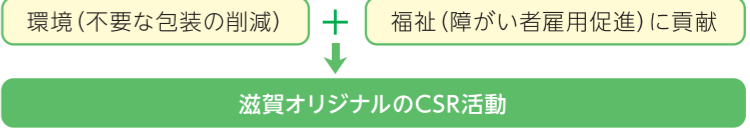


## 箱なしコピー用紙で環境と福祉に貢献



プラスチック製の通い箱

「滋賀グリーン購入ネットワーク」が進める、箱なしコピー用紙配達事業「エコラボはーと・しが」に参加しています。これは、通常のダンボール箱の代わりに、何度も使用できるプラスチック製の通い箱を活用し、共同作業所のスタッフがコピー用紙を参加企業へ配達する取り組みで、本部で使用するコピー用紙の一部を本事業により購入しています。



## ペットボトルキャップのリサイクル

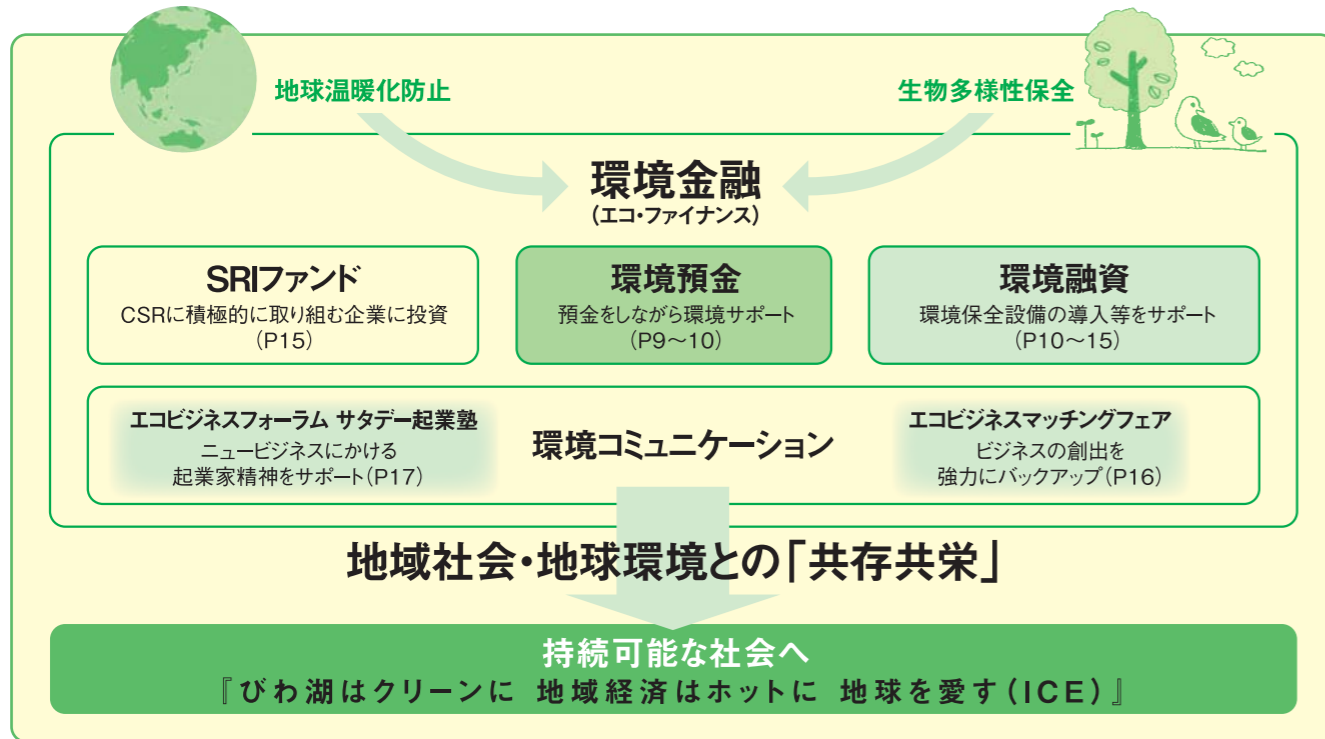
滋賀県内の企業が加盟する社会貢献組織「淡海フィランソロピーネット」のペットボトルキャップリサイクル事業に参加。





# お金の流れで地球環境を守る

- 経済の血液である「金融」の役割を通じ、持続可能な社会づくりに貢献できる可能性は、ますます拡大しています。当行は、環境対応型金融商品・サービスの開発、提供など、
- お金の流れで地球環境を守る「環境金融」を実践しております。



## 「学校ビオトープ」で環境学習 「エコプラス定期」

エコプラス定期は、当行創立 70 周年を記念して 2003 年より取扱開始。お客さまが当行のダイレクトチャネル(ATM、電話、インターネット)を利用して定期預金をしていただくと、1 回のお預け入れごとに7円 (ダイレクトチャネル利用で不要となる申込用紙代相当額)を当行が負担して積み立て、滋賀県内の小学校の「学校ビオトープ」づくりの資金として拠出させていただいております。



竜王町立竜王小学校

近江商人の「三方よし」の考え方で商品企画



## 「環境学習の実践の場」としてご活用いただいております

2006 年度以降の助成校累計は、20 校で総額 954 万円にのびります。

2011 年度「学校ビオトープ」助成校

- ①長浜市立北郷里小学校
- ②守山市立河西小学校
- ③東近江市立湖東第二小学校
- ④日野町立桜谷小学校

## 2010 年度「学校ビオトープ」助成校



東近江市立八日市南小学校



大津市立膳所小学校



竜王町立竜王小学校

## 日本環境経営大賞「環境経営パール大賞」を受賞

2010 年 6 月、「第 8 回日本環境経営大賞(主催：日本環境経営大賞表彰委員会、三重県)」において、「環境経営パール大賞」を受賞しました。さまざまな環境対応型金融商品・サービスの開発、提供により、金融機関としての役割を通じて地球環境保全に貢献してきたこと、また、地域と連携しながら「環境金融」を実践していることなど、成果の積み上げが極めて顕著なものであるとして、高く評価されました。



## 低炭素杯 2011「審査員特別賞」を受賞

2011 年 2 月、東京大学安田講堂で、「ストップ温暖化大賞—低炭素杯 2011—低炭素地域づくり全国フォーラム」(主催：低炭素地域づくり全国フォーラム実行委員会)が行われ、「審査員特別賞」を受賞しました。

当行は、低炭素社会の構築に向けて、お客さまと手を携えて実践してきた「環境金融」の環の広がりについて、「しがぎん琵琶湖原則」の取り組みを中心に紹介しました。



## テレビCMが第14回環境コミュニケーション大賞で優秀賞を受賞

当行のテレビCM「陶芸家・中野巨」篇が「第 14 回環境コミュニケーション大賞(主催：環境省ほか)」テレビ環境CM部門で優秀賞を受賞しました。

テレビCMでは、中野さんの「この土地でしかできないものが生まれる」の言葉と子どもたちのいきいきとした表情とともに、「滋賀ならではの自然、琵琶湖の素晴らしさを「未来」に伝え残していく」とのメッセージを発信。当行の環境金融、環境経営に取り組む思いをお伝えしています。

